

Trial & Error

トライアル・アンド・エラー

No.80

試行錯誤



特集 第三世界の歩き方(JVC編)

現場に行ってみよう

JVCが設立された1980年から84年ぐらいまで、長期、短期を問わずさまざまな人々がボランティアとしてJVCの活動に参加した。技術も経験もない若者たちがバンコクオフィスに押しかけ、自分にできる仕事を捜した。既存のプログラムに参加する者、新たにプログラムを組み立てる者。ボランティアとしての条件は、自費で、自力で現場まで行けることだった。初めはしろうと集団だったJVCも、しだいにNGOとしてのノウハウを身につけていった。今ではこの活動を仕事とするスタッフは常時20～30人いる（海外、国内も含めて）。いろいろな人が入れ替わり立ち替わり参加したので、初期のメンバーはスタッフとしてほとんど残っていないが、会員の多くはかつて現場で活動したメンバーだ。JVCを離れた人々もなんらかの形で第三世界の問題に関心を持ち続けている。

今思えば、初期のころのJVCの活動は、ボランティア活動もできるスタディツアーの一大プロジェクトだったかもしれない。難民や、現地の人々から得たものの方が、私たちが残してきたものよりはるかに大きい。現地の生活や人々に、じかに触れることの意義がどれほど大きいかは、実際に行った人なら誰しも認めている。自分の進路や人生設計を変更した人が何人もいるくらいだ。しかし現在はそのような場を提供するプロジェクトがなくなってしまった。活動内容が専門化し、現地の人々の参加が増え、さらに国によってはNGOに発給されるビザの数に制限があるからだ。これでは常々言っている、「頭で考えたり、物によって第三世界に触れるのではなく、実際に行ってみましょう」の言葉が言いっぱなしになってしまう。

そこでこの号では、JVCの現場に行く方法を集集し、さらに他のNGOなどが企画しているスタディツアーについても紹介した。JVCの現場編として、タイ、カンブチア、ソマリア、エチオピアを挙げたが、タイについてはガイドブックもたくさん出ているので、旅行の仕方については省いた。

スタディツアーは、従来からのタイに加えて、今年からエチオピアでも始めることになった。JVCの活動地には車がないと行けないため、そこまで行きたい人はスタディツアーをお勧めする。旅のついでにフラッと首都のオフィスに寄ることもできるが、忙しい時期もあるので要注意。



目 次

タイ	タイという国	3	ソマリア	ソマリアという国	12
	タイの歩き方	4		ソマリアの歩き方	13
エチオピア	エチオピアという国	6	スタディツアーいろいろ		14
	エチオピアの歩き方	7	ディスカウントチケットとは		16
	エチオピア・スタディツアー	8	JVCがすすめる 100冊の本		17
カンブチア	カンブチアという国	9	投稿 アフガン難民の住む町		18
	カンブチアの歩き方	10	My Dear Friend 古着、送るべきか		
	カンブチア旅行		送らざるべきか		20
	－私のアドバイス	11			

タイ

◆タイという国◆

面積・約52万平方キロ 首都・バンコク

人口・4900万人 主要言語・タイ語

自然 国土は2つの山脈が縦に走り、大きくは4つに分けられる。北部は山地であり、最高点では2595メートルに達するが、多くの川が流れ山間に盆地が開けている。これらの川は合流しチャオプラヤ川（メナム）となり、中央部に広い平原を形成している。また東北部は標高500メートル程度の高原で、東のメコン川にむかって傾斜している。この地域はイサーンと呼ばれ、タイのなかでは貧しい地域である。南部はマレーシアに続く半島部で、熱帯雨林気候に属する。

南部を除くタイは熱帯モンスーン気候で、5～10月が雨期、11～4月が乾期である。モンスーン地帯の年間降水量は1000ミリを上まわる程度で、水田には灌漑が必要で、東北部では干害が生じやすい。

住民と社会 中央部にシャム語（狭い意味でのタイ語）を話すタイ族、東北タイにはラオ族、北部タイにはタイユアン族などがある。これらタイ語族で人口の80%をしめ、そのほとんどがスリランカから伝来の上座部仏教を信仰している（精霊信仰のうえにヒンズー教が、そのうえに仏教が乗った重層的信仰ともいわれる）。

その次には中国人（華僑）が多く300万人を超えている。なかにはタイ在住も長く、タイ人と同化しているものも少なくない。またインド人（印僑）、ベトナム人、クメール（カンブチア）人も、見られる。南部には100万人にのぼるイスラム教を信仰するマレー系の民族が存在し民族問題を生じている。このほか北部の山岳地帯にはビルマ系のカレン族を中心に約30万人の山岳少数民族が居住している。

歴史 タイ語族が中国南部、雲南あるいは四川から東南アジアに南下してきたのは比較的新しく、ここ一千年ぐらいと言われている。タイ語族はビルマ、ラオス、ベトナムなどに分布するが、ほぼ同時期に出現したというのが定説。タイ北部の都市国家的存在（ムアン）から平原におりて、最初に作った国家



が13世紀のスコータイ朝である。以後、アユタヤ朝、ラタナコーシン朝と続くタイの歴史はクメール族、モン族、あるいはビルマとの戦いの歴史であり、またチャオプラヤ川を降りてきた経過でもある。

19世紀になりヨーロッパ諸国が東南アジアを植民地化したのが、フランス領（ベトナム、カンブチアなど）とイギリス領（インド、ビルマなど）に挟まれたタイは、巧みな外交交渉と両大国の思惑とで、終始独立を維持した。1932年のクーデターの結果、タイの絶対王政は終わったが、立憲君主制になったあとも、国王は強い影響力を持ち続けている。

第二次世界大戦後は、クーデターなどによりさまざまな性格を持った政権が生まれたが、現政権は1976年の学生を中心とする一大民主主義運動のあと、民主軍人グループを中心としたものである。

経済 タイは歴史上に初めて登場して以来、米の輸出国として知られている。現在も米、錫、ゴムなどの一次産品が主要輸出品である。タイの製造業は1960年代において、外国資本の進出を認めるなどの積極策が功をそうし、年平均10%以上の成長を続け、工業の基盤を作った。70年代に入ってから、石油ショックなどで成長率は鈍化したのが、着実な成長を見せている。しかし、貧富の差の拡大、過度の首都への集中など、近代化の弊害も大きくなっている。

JVCの活動 タイはJVC発祥の地であり、設立以来、活動の中心地である。現在、次の4カ所で活動が行われている。まずカンブチア難民のキャンプであるカオイダン、ここでは自動車修理技術などを教える西崎憲司記念技術学校が運営されている。パナニコムの第三国定住待ち施設では日本語学校や文化オリエンテーションが行われている。またバンコク市内ではスラム住民とともに生活改善のためのプログラムが実施され、今年から東北部の農村においても開発プログラムが始まった。

タイ

◆タイの歩き方◆

スラム観光

ひとつの忘れられない光景がある。もう7、8年も前のことになるが、打ち合せがあってある日の夕暮れ、バンコク最大のスラム、クロントイを訪れ、プラティーブさんと彼女の経営する小学校の、子供たちが去った後の校庭の片隅で話をしていたときのことである。突然、周辺の密集する家々の角を曲って大きなバスが入ってきた。普段そこは、小学校の校庭であるから、バスが入ってくる所ではない。バスは冷房バスで異様に大きく、おまけに新品なせいかピカピカ光っている。中には明らかに日本人と思われる一群の人たちが乗っており、これもまた異様なことに皆カメラを構えて、じっとスラムを写している。私は、ああついにスラムにまで観光バスがやってくる時代になったかと溜め息まじりにその風景を眺めていたが、てっきりゾロゾロと降りてあちらこちらにいてみるのかと思っていた人たちは、いつまでたってもバスからは降りてこず、皆びったり閉じた窓から実に真剣な顔をしてスラムをにらみつけ、あるものは相かわらず写真を撮り続けている。

スラムを真剣な眼差しで見る興味を持ちながら、決してバスを降りて住民と触れ会おうとしない人々。また自分の目で確かめるより、カメラで顔を隠してしかスラムを見る事のできない人々。私はその光景に現代日本の縮図や、日本人のアジアの人々に対する複雑な感情を見たと思った。プラティーブさんになって言ったものかと胸をどきどきさせて思案しているうちに、バスはまた静かに、黙って後ずさりするかたちで校庭の片隅から家々の陰に消えていった。

私の隣に立っていたプラティーブさんは、それでも、バスから眺めている日本人を笑顔で迎えようとニコニコしていたが、バスが見えなくなったとたん、静かに「ここは動物園じゃないのよ」とつぶやき、「私たちは見世物じゃないわ」と続けた。

後になって聞いたところによると、この日本人観光客は、はじめスラムの中をバスで廻りたいと申し入れてきたらしい。今ではりっぱな道がついているが、そのころは細い木を渡した通路ばかりで、車が入れるのはわずかに小学校の校庭だけであつたし、

だいいち、どこでもかしこでもバスで廻ろうという発想そのものがナンセンスである。いったんは申込みを断ったものの、「どうしてもスラムを見たい」と粘られて、プラティーブ財団の誰かが、結局引き受けたようである。

タイの人と同じものを食べる

自分が旅行者であつたらこんなひどいことはしないだろうと誰もが思うであろう。しかし、旅先で人は往々にして自分を安全な場所に置くことばかりを考え、相手の気持を考える余裕が持てないことがある。スラム訪問は悪いことではない。農村訪問も悪いことではない。「日本人ばかりが一方向的に訪問しては片手落ちじゃないか」と言ってみても、お互いに仲よくしようと思えば、まず知り合わなくてはならないし、よく知り合うためには第三の場所で会うよりはどちらか生活している場所で会う方がいい。そのあとで彼らに日本に来てもらうことだってできる。ただ、より深く知り合うためには、自分の価値観でものを見るのではなく、できるだけ相手と同じ地平に立とうとし、また五感をすべて研ぎ澄ませて知ろうとすることが大切だ。

近年は、近くて気軽に行けることから、タイへの旅行者は多い。人と違った経験をしたい、という訪問者も多い。しかし、それにはそれなりの事前研修が必要となる。たとえば食べ物。客が自分たちが作ったものを喜んで食べてくれるかどうかということは、もてなす側の大きな関心のひとつである。スラムの、あるいは農村の一般家庭を訪問して、スラムの人たちがなけなしのお金で買った水、あるいは農村の人たちが溜めた雨水や、遠くの飲み水専用の池から運んできた水を飲むことができず、自分で缶入り飲料を持ち込んだりするくらいなら、タイの人たちと触れ合う旅など目指さないで観光地を廻って帰った方がよい。確かに、火を通していない動物性食物、生の蟹（青パパイヤのサラダに入っている）、生の水牛肉など気をつけなければならない食べ物はある。しかし、火を通したものは大いに楽しむとよい。蛙のスープ、赤蟻の煮物、蚕の蛹の茹でたものなどなんでも美味しい。

1988年タイ・スタディツアー・スケジュール

月 日	時 間	行 動 予 定	宿舎・交通
8月14日(日)	18:00	事前研修会場に集合 事務事項説明, 保険手続きなど	宿舎
15日(月)	09:00	事前研修(文化・歴史, タイ語, 前参加者を囲んで)	宿舎
16日(火)	09:00	事前研修	PK YWCA
	15:55	成田空港を出発	
	22:50	ドンムアン空港に到着	
17日(水)	09:00	JVCバンコク事務所を訪問	バス CDの車 船 YWCA
	09:30	アソーク地域の奨学金活動を訪問	
	13:00	ソーパタヤおよびナンシー地域の移動図書活動を訪問	
	16:00	チャオプラヤ川流域訪問 寺院にて夕べの読経をきく	
18日(木)	11:20	アランヤプラテートへ向けて出発	三等列車 旅館
	18:00	アランに到着	
19日(金)	09:00	カオイダン難民キャンプ訪問	BKKの車 旅館
	19:00	JVCの技術学校および他団体を訪問 JVCスタッフと交歓会	
20日(土)	08:30	ブリラム, スリンへ向けて出発	BKKの車 旅館
	17:00	途中数カ村でJVCの掘削した井戸を見学 スリンに到着	
21日(日)	09:30	ターサワン村のナン師を訪問	BKKの車 民家
	15:00	クメールの遺跡, パノム・ルンを見学	
	16:00	ランプライマートのマーケットで民泊のための買い物 村に到着, 農家に分散して宿泊	
22日(月)		それぞれの家庭で田植えなど農作業を手伝う	民家
23日(火)	09:00	バンコクに向けて出発	BKKの車 YWCA
	12:00	コーラート	
	18:00	バンコクに到着	
24日(水)	09:00	JVCクロントイ事務所訪問	YWCA
		図書館活動などを見たあと, JVCスタッフとの懇談会	
25日(木)	06:30	パナニコムへ向けて出発	中距離バス YWCA
	09:30	JVCおよび他団体を訪問	
	18:00	バンコクに到着	
26日(金)		自由プログラム	
	18:00	さよなら夕食会	
	22:30	空港に向けて出発	
27日(土)	01:55	ドンムアン空港から東京に向けて出発	PK
	12:55	成田に到着	

* CDの車: 地域開発
(Community Development) チームの車
BKKの車: バンコク事務所の車
民泊の村は毎回変更しています。

ときどき日本人の書いた「蛙やゲンゴロウまで食べている東北タイの貧しさ」などという文章にお目にかかったりする。牛や豚を食べるのが豊かで、ゲンゴロウを食べるのが貧しいなんて牛や豚を食べる人の価値観でしかない。このような価値観を捨てて見られるか、感じられるかということに旅の成否がかかっているのだと思う。

(岩崎 美佐子)

◆毎年2月と8月にモラロジー国際救援運動推進委員会(MIRC)と合同でタイ・スタディツアーを行っています。日程は2週間。費用は18万円程度。申し込みの締め切りは12月末と6月末です。コースはその年によって少し変わることがありますが、スラム、農村、難民キャンプは毎回訪問地に入っています。定員は9人。お問合せはJVC東京事務所か、MIRC事務所まで。

MIRC 〒227 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

☎ 0471 (73) 3216 (奥山)

エチオピア

◆エチオピアという国◆

面積・約122万平方キロ 首都・アジスアベバ
人口・約3400万人 主要言語・アムハラ語

自然 アフリカ大陸北東部に位置し、国土は最高点では4000メートルを超えるテーブル状の高原と、それに深く切りこんだナイルなどの峡谷に分かれている。季節は乾期と雨期に分かれているが、南部のほうが雨量が多い。以前は南部は熱帯雨林、北部は針葉樹林におおわれていたが、現在では伐採が進んでいる。近年干ばつによる被害が出ているのは北部で、針葉樹林は絶滅している。中央部にはアフリカ大地溝帯が走り、川や湖が多く見られる。

民族と社会 古くから独立を保っていたアフリカ最古の独立国であるが、紀元前から数度のアラビアからの移住があり、人種文化ともに多様性に富む。なかでもっとも優勢なのはセム語族系のアムハラ族とその近縁といわれるティグレ族で、中部、北部の高原地帯に住んでいる。アムハラ族は旧皇帝などの支配層を形成し、人口の約3分の1を占めている。

人口的にもっと多いのは、エチオピア高原の南のほうに住む牧畜民のカラ族で単一部族では、最大の人口を抱え（35～40％）、「革命」後は勢力を伸ばしている。そのほか、シダモ族、ソマリ族なども5～10％の人口をようしている。

アムハラ族はエジプトのコプト教会系に属するキリスト教（エチオピア教会）を信仰しているが、他部族ではイスラム教を信じるものが多く、内紛の原因のひとつになっている。

歴史 伝説的にはソロモン王とシバの女王との間に生まれたメネリク1世によって紀元前1千年ごろに創設されたとされるが、歴史的に確認されるのは紀元前後に登場するアクスム王国からである。

この王国は現在のティグレ州アクスムに本拠をおき、4世紀のエザナ王の頃、最盛期を迎えた。当時のエザナ王はキリスト教に改宗し、オベリスクなどを建設した。

以後、イスラム勢力の台頭もあり、この系統をひく王朝（ソロモン王朝）には幾多の盛衰があり、不安定な時期もあったが、一貫して独立を維持してきた。

19世紀後半になり、テオドロス2世が分裂状態にあったエチオピアを再統一し、以後、1896年にはイタリアとの戦い（アドアの戦い）に勝つなど、アフリカに進出するヨーロッパ勢力と対抗しながら、現在の領土を確立してきた。今世紀に入り、一時ムッソリーニのイタリアに占領されたが第二次世界対戦の開戦とともに、イギリス軍の支援を得て、独立を回復した。戦後、旧イタリアとイギリスの暫定統治下にあったエリトリアと連邦を結成、のちにこれを一州として併合したが、現在までつづく激しい内戦の原因となった。

1910年代から実権を握り、近代化政策を進め、列強のなかで独立を維持し、エチオピアの対外的威信の増大につとめてきたハイレ・セラシエ1世であったが、アフリカ統一機構を設立するなど対外的には絶頂の直後に、クーデターによって廃位された。

1974年に成立した革命政権は社会主義宣言を行い、75年には主要産業、および農地の国有化などを行った。

経済 世界の最貧国のひとつで、アフリカ内でも貧しいほうである。主要産品は、コーヒー、綿花、大麦、小麦などが中心の農業国。

JVCの活動 1985年から翌年にかけて、姉妹団体であるSHAREとともに、飢餓状況にあったウォロ州アジバールにおいて、緊急医療救援プロジェクト（アジバール病院）を実施。飢餓状況の終息とともに、アジバール近郊のマーシャ村で、農業植林復興計画を開始した。5ヘクタールの実験農場、農業学校の開設、衛生教育、食事改善、50ヘクタールの植林など着実に成果をあげているが、深刻な飢餓の到来も伝えられている。

◆エチオピアの歩き方◆

★エチオピアへいかに安くいくか

まずはパキスタン航空の割安往復チケットを利用して、カラチ経由でナイロビに行く（季節によるが22万円ぐらい）。そしてナイロビでケニア航空かエチオピア航空のアジスアベバとの往復チケットを買う（約4万円）。乗り継ぎ客には1宿3飯のサービスがある。

★ビザの取り方

パスポートのほかにビザ（査証）が必要。申請書1通、写真3枚（5×5cm）に、チケットを添えてエチオピア大使館に申請。2日後に取れる。観光ビザの有効期限は1カ月。3カ月まで現地で延長可能。

★予防注射は

黄熱病とコレラ（2回）の予防接種を打たなければいけない。2週間はみておくこと。

★エチオピアの旅に必要なものは

懐中電灯は必需品。これがないと、マーシャで夜お手洗いに行くことができない。頭に止める形のもものが便利。

★雨具はいるのだろうか

日本の夏休みはエチオピアの大雨期になる。夕暮れが近くなるとザーッとくるので、雨具がいる。マーシャでらばに乗り、山道を歩くということを考えると、上下に分かれたカッパがいい。長ぐつも必要だが、かさばるものなのでアジスアベバで購入すればいい。

★入国のとき

持ち込む外貨の額を申請書に記入する。これは両替の際には持っていなければならない。また、出国時に両替の総額、残金と照合させられることがある。

★エチオピアの通貨は「ブル」

1ブル（＝100セント）が65円。空港内か市内の銀行で、ドルの現金またはトラベラーズ・チェックで両替する。

★アムハラ語を話そう

アジスアベバの銀行やレストランなど、旅行者がよく行くようなところでは英語は通じるが、公用語のアムハラ語をよりたくさん覚えたほうがいいし、

また楽しい。本屋で“AMHARIC FOR FOREIGNERS”をまず買おう。アジスアベバの市内地図も。

★タクシーに乗る

アジスアベバには2種類のタクシーがある。1つは観光客用の黄色いタクシー。空港、ホテルの前にしか止まっていない。一般的なのはブルーの乗り合いタクシー。タクシーというよりは路線バスのようなものである。決められたルートを行くので、目的地まで何回も乗り換えて行くこともある。タクシーの停留所も決まっている。

★ホテルについて

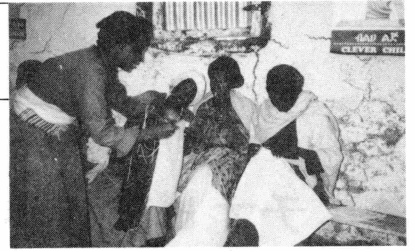
アジスアベバにはヒルトン・ホテル（超高級）、エチオピア・ホテル（高級）などがあるが、JVCから行く場合利用することになるのは、マーシャへの行程の半ばの町、デシのアンバサダー・ホテル。1泊約1500円ぐらいで、温水シャワー付きの部屋に泊まれる。もしもアジバールで1泊しなくてはならないと、1泊約300円、ダニ・ノミ付きのマグデラホテルとなる。防虫スプレーをまき、防虫クリームをつけ、首、手首、足をしっかりガードして眠るようにする。

★おいしい食事を楽しむために

テフという細かい粒の穀類から作った、薄く大きいパンケーキ、インジェラの味に早く慣れるといい。灰色のスポンジ状の外見に、抵抗を覚えた人でも帰るころには大好物となる。これに肉や野菜が入った辛いスープ、ワットをかけて食べる。鶏のワットはごちそう。野菜だけのワットというのもおいしい。

★エチオピアのお酒とチャットについて

麦から作った軽いビールのようなタッラ、昔は貴族階級の飲みものだったという、はちみつから作るタッジを地酒ファンは試すといい。アディスアベバでは、生ビールやワイン、ブランデーも飲める。合法的に覚醒作用を楽しむものにチャットがある。生の葉っぱを多量にかんでいううちに気分がハイになってくるといふもの。慣れないとその前におなかをこわすという説もある。（N.S）



◆エチオピア・スタディツアー◆

JVCでは今年初めて、エチオピア・スタディツアーを行うことになった。目的はアフリカの飢餓はもう去ったのか、再び危険があるのか確かめると、プロジェクトの現場を直接訪れ、第三世界の開発問題を考えることにある。マーシャ村では村人とともに植林を行ったり、そのほかの作業も手伝う。

アジスアベバからマーシャ村には四輪駆動車で片道2日かかる。したがって体力に自信のある健康な人が第一条件。往復の4日間はただただ移動するだけだが、これこそがエチオピアである。2000メートルの標高差を登ったり降ったり、ちょっとしたラリーというところだ。したがって保険には入っておかなければならない。また、そのころはちょうど雨期にあたるので移動に馬を使うことになるかもしれない。

ところで、エチオピアにあるのは過酷な自然ばかりではない。東アフリカ随一といわれるマルカート市場の見学や、アジスアベバにある温泉での入浴もコースに含まれている。3000年の歴史を誇るエチオ

ピアの懐は深い。

なお、全行程についてJVC神奈川の山口誠史が同行する。

＜募集要項＞

応募資格：体力に自信があり、事前研修に参加できる人

期 間：1988年8月19日(金)～8月30日(火)
(8月19日は事前研修日)

募集人員：5名

参加費用：29万5000円

(往復航空運賃、国外の宿泊費・食費・移動費、事前研修費を含む)

応募要領：参加希望者はJVC神奈川事務所か東京事務所にご連絡下さい。必要書類をお送りします。

締め切り：7月10日

*参加費用のなかにはパスポート、ビザ、及び保険料は含まれていません。

エチオピア・スタディツアー・スケジュール

月日(曜日)	訪 問 地	活 動 内 容	宿 泊 地
8月19日(金)		事前研修	未 定
8月20日(土)	成田→北京	出発(中国民航)	北 京
8月21日(日)	北京→アジスアベバ	到着 JVCオフィス訪問 マルカート見学	エチオピアホテル
8月22日(月)	アジスアベバ→デシ	移動、途中の村の見学	アンバサダーホテル
8月23日(火)	デシ→マーシャ村	〃	JVCゲストハウス
8月24日(水)	マーシャ村	プロジェクト見学 植林手伝い、スタッフとの交流会	〃
8月25日(木)	〃	植林など作業手伝い 周辺の村を訪問	〃
8月26日(金)	マーシャ村→デシ	移 動 アジバール病院跡地見学	アンバサダーホテル
8月27日(土)	デシ→アジスアベバ	移 動 アジスアベバ市内見学(温泉に入る)	エチオピアホテル
8月28日(日)	アジスアベバ→北京	午前中自由行動 午後の便で北京へ	北 京
8月29日(月)	北 京	北京市内見学	〃
8月30日(火)	北京→成田	帰 国	

カンブチア

◆カンブチアという国◆

面積・約18万平方キロ 首都・プノンペン
人口・約700万人 主要言語・クメール語

自然 インドシナ半島の南西部にあり、ベトナム、ラオス、タイと接している。四方は低い山地に囲まれており、そのなかの広大な平野を大河メコンが流れ、大湖トンレサップ湖が広がっている。メコン川が流れ出る西南の低地はベトナムに続き、南西部の山地は標高を下げタイランド湾に没している。熱帯モンスーン気候であるが、タイより雨量が多い。乾期が12～5月、雨期が6～11月である。

民族と社会 全人口の90%近くがクメール族で、上座部仏教を信じ、農耕を営んでいる。おもに都市部で商業に従事している中国人（華僑）、都市周辺で商業、漁業で生活しているベトナム人が、各40～50万人、漁業、畜産に携わっているチャム族（イスラム教徒）も10万人余いるといわれていたが、内戦とクメール・ルージュの統治後は激減した。

歴史 カンブチアの歴史は古く、中国のさまざまな史料に現われている。最初に登場するのは紀元前後の「扶南（ふなん）」、次に「真臘（しんろう）」で、7世紀前半には現在の領域を支配していたという。

その次が、有名なアンコール帝国で、9世紀後半に始まり、15世紀前半に終わるこの期間は、カンブチアの最盛期である。版図はベトナム、ラオス、タイ、マレーに広がり、ほぼインドシナ半島を統一した。首都アンコールには、壮大な王都が築かれ、アンコール・ワット、トムなどの世界的に知られる寺院や王宮が建設されたのもこの時代である。

1432年にアンコールがアユタヤ朝のタイによって陥落して以来、タイ、ベトナムに圧迫された低迷期が続く。さらに、1887年にはフランスの保護国になり、第二次世界大戦中には日本軍の侵略も受けた。

大戦後は、1953年にシハヌーク王が王国として独立、非同盟政策をとった。その後退位したシハヌークが1970年まで実権を握っていたが、ロン・ノル

（親米派）が取って代わった。ロン・ノル政権は、内部抗争により弱体化し、アメリカ軍のプノンペンからの撤退と同時に崩壊する。

次にカンブチアを支配したのは、シハヌーク時代に地下活動に入り、内戦を続けていた左派勢力、クメール・ルージュである。のちに波尔・ポトに代表されるこの政府は、都市住民の農村への強制移住、貨幣の廃止、国内異動の禁止、など超急激な「社会主義政策」を実行、国内の大混乱を招いた。

富裕階級、知識人、都市住民などへの敵視は異常で、数百万人が虐殺されたとされている。また、政権内の争いも激しく、多数が粛清された。

1979年には、粛清をまぬがれた親ベトナム派のヘン・サムリンがベトナムの支援受けて、プノンペンを占拠、新政権を樹立した。一方、反ベトナムのシハヌーク、ソン・サンらはクメール・ルージュとともに3派連合を結成し、連合政府を発足。国連の議席を確保しつつづけている。

経済 基本的には水田を中心とした農業国である。農家一戸当たりの耕作面積は広いが（3.6ha）、粗放的で収穫量は多くない。天候の影響を受けやすい。しかし森林資源は多く輸送のための水路（メコン川）にも恵まれている。

ロン・ノル政権下までは東西両側の諸国からの援助も多く、社会的基盤の整備も進んでいたが、以後の内戦、混乱の時期に壊滅し、西側諸国から孤立した現在、復旧は遅々として進んでいない。東南アジアでは最貧国のひとつである。

JVCの活動 1982年から2年間、OXFAMの井戸掘り事業に人材を派遣していた。さらに1985年からは日本では唯一、カンブチア国内で活動するNGOとして、プノンペンに自動車修理の学校兼工場の開設を進める一方、孤児院援助、農村部での井戸掘り、プノンペン近郊の農村に母子保健のためのRINEセンターを開く、などの活動を続けている。

カンプチア

◆カンプチアの歩き方◆

個人でカンプチアを旅行できるのは一部の人に限定されている。学者、ジャーナリスト、NGOなどへの訪問者。あとはいくつかの代理店が出しているツアーやピースボートに乗るしかない。またはベトナムが出しているツアーに参加する。

これから紹介するのはJVCの訪問者への旅の手引きである。JVCでは1年に何回かスタディツアーを組むことがある。今のところ公募はせず、支援団体とか会員のなかから、特にカンプチアに関心のある人がまとまったところでツアーを出す。プノンペン、ホーチミン間の飛行機が木曜日にしか飛んでいないので、だいたいその1週間がカンプチアにいられる日となる。

★ビザの取得

カンプチアは日本と国交がないのでビザの取得はややこしい。申請書（JVCにある）と履歴書、写真（4×6）5枚を入国予定日の5～6週間前にJVCプノンペンに送る。ビザが発行された時点でプノンペンより連絡が入る。（実際にビザが渡されるのはプノンペンに向かうエア・ベトナムの中で）

★入国ルート

一般的なのはバンコクからホーチミン、プノンペンのルート。バンコク、ホーチミン間はエア・フランスが木曜日に飛んでいる。（3月から9月までは月曜日にも便がある）ホーチミンからはICRC（赤十字国際委員会）がチャーターした、エア・ベトナムに乗り換える。エア・ベトナムの予約はJVCでまとめてバンコクのICRCでできるが、航空券は乗り換え時に買う。バンコクからプノンペンまでの往復料金は120米ドルぐらい。

★どこに泊まるか

プノンペンには外国人が泊れるホテルは数少ない。JVCの関係者はモノロムホテル（1泊14～16ドル）かホワイトホテル（16ドル）に泊まる。冷房あり。

★両替について

通貨の両替は米ドルの現金以外からはリエル（1リエル＝1円）に交換することができない。買い物や食事にはリエルを使うが、ホテルや航空券の支払



いは現金のドル払い。

＊最近はできるようになったという噂もある。

★アンコール・ワットには行けるか

カンプチア旅行の目的にアンコール・ワットの見学をあげる人が大ぜいいる。内戦やクメール・ルージュによってずいぶん破壊されたが、今も旅人をひきつける。しかしここを訪れることのできる人は少数の運のいい人だけだ。まず乾期でなければいけない。雨期は滑走路が水びたしになり、飛行機は飛べない。また、付近に反政府ゲリラが出没すれば通行禁止となる。お天気しだい、情勢しだいなので、これまでも何人もの人がプノンペンまで来ながら、あきらめて帰っている。また行くことができたとしてもそれは日帰りである。なお飛行機は現地の西側団体がチャーターすると1人往復250ドルである。

★カンプチアでの行動範囲

社会主義国で、まだ完全に平和をとりもどしていないカンプチアでは、外国人が訪れる先は自ずと決められている。自由に動けるのはプノンペン市内の数キロだけで、田舎に行くのには必ず許可がいる。それに道路もずいぶん破壊されているので、事実上行くことができない地方が多い。

★訪問先は？

JVCのプロジェクト現場や援助した孤児院などをまわるだけで1週間ぐらい過ぎてしまう。その合間を縫って王宮やトウルスレーン（クメール・ルージュ時代の政治犯収容所及処刑場に使われた高校。今は博物館）、市場などを見てまわる。スケジュールはJVCプノンペンでたてるが、若干の変更は可能。

★何を食べるか

麺類やおかゆばかりでなく、フランスパンやソーセージ、アイスクリームも食べることができる。市場にはけっこう屋台も出ているが、完全に火を通したものでないものならまず大丈夫。

★カンプチアツアーのある旅行社

富士国際旅行社 〒162 新宿区揚場町2-16
第二東文堂ビル3F
03(266)0811

9日間で39万7000円

◆カンブチア旅行 —私のアドバイス◆

かつて、「東洋のパリ」と言われたプノンペン。朝の4時ともなれば、日の出も待ち切れずに働き出す人々のにぎわいがあり、7時近くになれば、レストラン・屋台で、クィチアオ（カンブチア麺）の朝食をすませ、出勤する人々がバイクの騒音とともに走り去る。シクロの運転手たちは思い思いのこぎやすいでたちで、数少ないホテルの前でカンブチアタバコをくゆらしながら、客待ち顔。

屋の35～36℃の暑さにくじけると、レストランに立ち寄りソーダ水に涼を求める。1本＝18リエルで、一時の潤いにありつけるが、普通の人々には懐に響く値段である。ちなみに、米1kgが18～20リエル（18～20円に相当）である。

そして、イヌやネコは、物陰の涼しい場所を選んで昼寝と酒落込む。

去年より早い雨期に「龍年」の証しと幸先を喜ぶ人々。そして、たたきつける雨の中を縦横無尽に水と戯れる子供の姿に思わず、ほほえみたくなる。

無灯火の自転車・バイクが自動車の脇をすり抜けて家路に急ぐ夕暮れ時、自動車のドライバーは危険を知らせるクラクションを思いきり鳴り響かせる。それでも交差点に立つお巡りさんは、ひたすら交通整理の規則正しい動作をくり返す。

夕餉がすむと、家の軒下に竹の縁台を出して眠りに就く老人。決められた時間帯に放映されるテレビ番組に集まり、夢中に見入る大人や子供。

そんな夜のいこいの中で、未だ、9時以降の外出禁止令のホイッスルの音は、一層の響きをもって鳴りわたる。

そんなカンブチアにいざなわれたあなたが、心得ておくとよいものをいくつか紹介します。

まずは、コミュニケーションの手段となるクメール語について。もちろん、クメール語を話せるに越したことはありませんが、会話のきっかけをなす挨拶の言葉を覚えておくと、何かと便利。市場での買物も気分良く楽しめるのではないかしら。レストランのメニューは、クメール語とフランス語。食物に

関するフランス語を知っていると、思わぬおいしい物に出くわすかもしれません。中国料理店では、漢字を並べて注文することも可能です。とにかく、二言三言のクメール語から始まって、身振り手振りの会話を楽しむのもよいでしょう。

カンブチア通貨は、「リエル」。両替は外国貿易銀行で1ドル＝100リエルで行なわれていますが、手数料として0.5%が差し引かれます。銀行での日本円での両替は、実質的には困難。トラベラーズチェックも無効ですので、ご注意下さい。市場や個人商店での闇両替の実勢レートは、1ドルあたり125リエルぐらいでは安定しています。

肝心の宿泊場所は、ビザの申請と同時に申し込み、入国が認められるとホテルも考慮され、あてがわれることになっています。自分でホテルを捜し回る労は避けられますが、電気・水道事情が良くないので、夜間の断水や月中の停電に頭を痛めることもあります。しかし、これもカンブチアの実情と覚悟すると、さして苦にならなくなるのではないかしら。宿泊料金は、ドル払いで、一泊16ドルが平均的な値段。

滞在中の移動手段は、外務省の通訳兼ガイドと運転手の付いた車を借りる場合がほとんどなので、自由時間はシクロに乗って、普通の人の生活を垣間見るのも楽しいのではないかしら。シクロの運転手は外国人料金とやらでふっかけるので、事前にそこに住む外国人に目安となる料金を尋ねておくと、快くシクロを楽しめます。

最後に、これだけは持って行った方がよいと思われる物として、懐中電灯。時折襲う停電に備えて、また、田舎のゲストハウスに泊まる時に備えて。月明かりと満天の星に頼るのもおつですが、やはり、暗闇の不安を取り除きたいものです。次に帽子・サングラスで強い陽差しを防ぎ、胃腸薬で体調を整え防虫クリームで虫刺されから身を守り、気軽にサンダルで闊歩すれば、カンブチアがより身近な国に感じられること請け合いです！

（麦倉玲子）

ソマリア

◆ソマリアという国◆

面積・約64万平方キロ 首都・モガディシュ
人口・約520万人 主要言語・ソマリ語

自然 アフリカ大陸東端、アフリカの角といわれる地域にある。北東部は紅海、南東部はインド洋に面している。中央部や北部では標高1500メートルを超える山地、南部では500メートル程度の低い高原になっている。

領土は北緯12度から南緯2度という赤道直下にある。海に面しているが雨は少なく、砂漠、また半砂漠におおわれている。内陸部は一日の温度差が激しく、JVCの活動するマガネイ地区では、日中の最高気温は40度をこえる。大きな川は少ないが、エチオピア高原に発する南部のジュバ川、シェベリ川は乾期にもある程度の水量を保っている。

民族と社会 少数のアラブ系の住人もみられるが、ほとんどがソマリ族、およびその近縁の種族で、アフリカには珍しい単一民族の国家。ソマリ族はソマリアを中心にエチオピア、ケニア、ジブチにまたがって主に遊牧を営んでいる。遊牧はラクダ、ヒツジ、ヤギ、ウシなどが対象で、主食は乳製品であるが肉や穀物も食べる。宗教的にはイスラム教スンニ派に属している。

歴史 紀元前15世紀には、没薬（もつやく）、乳香などの産地として、エジプトなどに知られていた。紀元後10世紀頃から、イスラム系の土候国が海岸地帯に存在した。18～19世紀にはインド洋に面している地域は、アラビア半島やザンジバルのスルタンによって支配されていた。

19世紀末になると、紅海沿岸地方はイギリスの保護領になり、その南部（現在のジブチ）にはフランス、インド洋に面した地方にはイタリアが進出し、20世紀初頭には、3国がソマリアを分割する形になった。

これらの国の進出と同時にイスラム教を背景とする民族主義的抵抗運動が活発に繰り広げられたが、



独立は1960年まで待たなくてはならなかった。

イタリア、イギリスの両領が合併してできたソマリアの新政権は、エチオピア、ケニア、ジブチ（ソマリ系のイッサ族とエチオピア系のアフール族がほぼ拮抗している）などにまたがるソマリ人の居住地域を統一するという「大ソマリア主義」を唱え、前の2国と紛争を繰り返した。当時、革命前のエチオピアがアメリカの援助をえていた関係で、ソマリアは一時、ソビエトに接近した。1977年のオガデン紛争以来アメリカとの軍時関係を強めてきたが、1988年4月エチオピアとの国交を結び、中断していた外交関係を回復した。

経済 家畜の輸出が全輸出額の過半を占めているのでも分かつと、遊牧が基本のこの国の経済水準は低く、めばしい産業はない。アフリカでも最貧国のひとつである。難民の流入後は諸外国からの救援が最大の産業などという話さえさやかれたほどである。最近になってインド洋での漁業が発展の兆しを見せてきている。

JVCの活動 1980年はじめに、前出のオガデン紛争、エチオピアの干ばつなどの影響で、大量のソマリ族の難民がこの国に流入してきた。初期にはもともと危機的な状況にある難民として、世界各国の援助が集中したが、JVCが活動を開始したのは、ソマリア政府が難民の定住を許可した1984年以後である。

マガネイの難民キャンプ周辺で、灌漑農場の開拓からプロジェクトを始めたが、現在約100ヘクタールの農場がある。活動の主力はJVCから難民に移りつつある。彼らが自主的にグループを作り、開墾している。そのほか、料理教室、衛生教育、現金収入をえる手段の援助などにも活動は広がっている。また、JVCの活動中、新たな難民が流入したため、一次的な救援を開始。難民の移送先であるジャボレキキャンプに拠点を作り、医療保健、植林、家庭菜園、収入プロジェクトなどもてがけた。

◆ソマリアの歩き方◆

ソマリアの乾期は格別である。歩く時も日陰から日陰へと足早に渡らなければならない。日中の畑は焼けたフライパンのようで、作業は午前中しかできない。それに土は耕すほどに熱くなる。

そんなソマリアに行ってみたいという人はJVCの関係者か物好きしかいないだろう。世界にはこんなにも厳しい所があるのかと、カルチャー・ショックに出会うことは間違いない。

なかにはラクダを見に、あるいは難民を見にソマリアを訪れる人もいる。アメリカのガイドブックには「UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）を訪れるといい」とあり、それを見たUNHCRのスタッフがカンカンになったことがあった。もちろんJVCとしてもそのように気軽に訪問されてはこまる。ルークの現場にビジターとして短期間入ることもできるが、それには東京オフィスの推薦と現場の承認がいる。やはり積極的に第三世界の問題に関わろうという姿勢が必要だ。

とはいえ、極暑のソマリアに行ってみようというのなら、それは可能だ。観光ビザは1カ月まで認められている。それでは実際にソマリア旅行には何が必要か、経験者のアドバイスを紹介したい。

まずビザを入手すること（ケニアでも取れる）。原則として観光ビザは1カ月だが、ソマリアに入ってから交渉すれば延長できることもある。予防注射はコレラと黄熱病が必要なのはエチオピアと同じ。

航空券は日本からケニアまでの往復チケット（ディスカウント・チケットで約22万円）を買い、さらにケニアでソマリアまでの往復チケット（210ドル＝約2万5000円）を買う。ソマリア航空が水曜日、ケニア航空が日曜日、それぞれ週1便飛んでいる。

そして、モガディシュに着くと、大変なことが待っている。外貨申請書を80シリングで買わなければならないのだが、申請書を出さないと両替できないのだ。つまり、ソマリアでしか通用しないソマリア・シリングを海外から持参しなければならない。しかし、ソマリア国内でしかソマリア・シリングを入手できない。どうする？ もしソマリアに知り合いがいればあらかじめ送ってもらうか、なければドルで支払うしかない。これには5ドル（約500シリン

グ）ほどかかる。ちなみに1シリングは1.3円。

モガディシュはインド洋に面した美しい街である。イタリアの植民地だったので、南欧風の雰囲気がある。イタリア料理、中華料理。単調な食事しかできない難民キャンプで働く人々にとってモガディシュは天国だ。しかし海がどんなに美しくても泳いではいけない。サメがいるからだ。それとは知らず海水浴をしていたスタッフもいたが、無事だったのは単に運が良かったからに過ぎない。それと川には住血吸虫がいる。

モガディシュのホテルはシャワー付きで400円ぐらいからある（フローレンスホテル、ダレサンホテル）。「ソマリアに来たのはやっぱり難民キャンプを見たいからで、スパゲティを食べに来たのではない」。そう言う人もいるだろう。原則として旅行者はそんなところに行くことはできない。交通手段もないし、安全性も保証されない。もしただ1つ方法があるとすれば、ナイロビからの乗り継ぎ客のなかから国連やNGO関係者と友だちになっておくこと。うまくすれば行けるかもしれない。ただし何が起きても自分に責任があることを忘れてはならない。

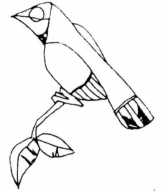
それではソマリアに何を持っていくか。まず蚊取線香、懐中電灯、マラリアの薬は必需品。サンダルはケニアでいいのを売っている。ちょっと長く滞在する人はふりかけやお茶づけの素など、軽くてかさばらない日本食があった方がいい。（これらはJVCを訪問する際のおみやげとしても喜ばれます）

また、ソマリアでは生野菜を食べるという習慣がなく、どうしてもビタミンが不足するので、できればビタミン剤を持っていく。野菜やくだものは必ず自分で調理したものを食べる。よく洗わないで食べると寄生虫で悩まされることになる。

女性の場合忘れてはならないのが日焼け止めクリームとスカーフ。ソマリアの日射しは強く、すぐ軽いやけどのようになってしまう。また、すその長いスカートも持っていた方がいい。ソマリアはイスラム教の国なので、女性が足を見せることはない。したがってショートパンツもダメ。それに日焼けを防ぐためにもスラックスやサロンがいい。



スタディツアーいろいろ



観光コースではない、ほんとうのアジアが知りたい、ほんとうのアフリカが知りたい。もっと現地の生活や人に触れてみたい。そんな人が増えてきた。1人で行ってみたいけど、限られた時間の中で村人と交流したり、学校を訪問するのは困難だ。言葉もわからない。それに現地の人に迷惑がかかるかもしれない。いろいろな理由が重なって近年スタディツ

アーが盛んになっている。開発教育というところと構えてしまうが、その国の人といっしょに仕事をしたり、語り合うのは楽しい。

それではスタディツアーを企画しているいくつかのNGOを紹介したい。

また、NGOのほかに旅行代理店などが企画したものもある。

NGOのスタディツアー

団 体 名	住 所	団体の活動	訪 問 地
ア ジ ア 学 院	〒329-27 栃木県那須郡西那須野町 槻沢 442-1 ☎ 02873 (6) 3111	アジア、アフリカから研修生を受け入れ、農村の指導者を養成。	フィリピン 南部 (ミンダナオ、ネグロス、パナイ)
アジア協会・アジア友の会	〒530 大阪市北区曽根崎新地 2-5-4 聖書館ビル 4F ☎ 06 (341) 0587	井戸を贈る運動などを通じ、アジアの農村開発に協力。	ネ パ ー ル
ア ジ ア セ ン タ ー 21	〒533 大阪市東淀川区淡路 5-16-21 ☎ 06 (323) 1126	アジア図書館設立のための図書収集などの開発教育及び人材交流。	フ ィ リ ピ ン
”	”	”	インド / ネパール
アジア保健研修財団 (AHI)	〒470-01 愛知県愛知郡日進町米野木 字南山 987-30 ☎ 05617 (3) 1950	アジア各地から、保健、医療、栄養の関係者を受け入れ人材を養成。	南 イ ン ド (タミルナド州)
アジア民間交流ぐるーぷ (APEX)	〒181 三鷹市下連雀 9-4-10-207 阿部様気付 ☎ 0422 (43) 6634	インドネシアのNGOを通して農村開発に協力。	イ ン ド ネ シ ア タ イ
(財)京葉文化センター	〒290 市原市辰巳台東 3-11 ☎ 0436 (74) 2151	人材交流を行いながら国内での開発協力に力を入れる。	台 湾 / 香 港
シャプラニール	〒160 新宿区西早稲田 2-3-1 早稲田奉仕 園スコットホール内 ☎ 03 (202) 7863	バングラディッシュの農村で組合づくりなど農民の自立を支援。	バングラディッシュ
”	〒610-11 京都市西京区大原野 北春日野 255 ☎ 075 (331) 0937	”	”
日本ネグロス・キャンペーン実行委員会(JCNC)	〒162 新宿区新小川町 1-19 ☎ 03 (269) 4821	ネグロスの飢餓への緊急救援及び自立のための農民支援。	フ ィ リ ピ ン (東ネグロス)
”	”	”	フ ィ リ ピ ン (ネグロス、ワーグ・キャンプ)
P H D 協 会	〒650 神戸市中央区元町通 5-4-3 元町アーバンライフ 202 ☎ 078 (351) 4892	アジア各地から研修生を受け入れ、日本の地域の中で人材を育成。	イ ン ド ネ シ ア
”	”	”	ス リ ラ ン カ
R A S A (アジアの農村と連帯する会)	〒162 新宿区河田町 7-14 イエズス会社会司牧センター内 (連絡は郵便)	タイのNGOと交流をはかりながら、農村開発に協力する。	タ イ

もう1つのスタディツアー

ピース・ボート	☎03－ (232) 8561	北クルーズ（ソ連・中国・モンゴル）		8月18日～9月19日の間 (各コースにより異なる)	99,800円～558,000円 (各コースにより異なる)	
		南クルーズ（中国・香港・台湾）				
第三世界ショップ (P.A)	☎03－ (791) 2147	フィリピン	ミンダナオ・マニラ	石けん作りの共同作業	7月24日～31日	140,900円
		タイ	タイ北部	学校作りを応援	8月21日～27日	146,400円
		インドネシア	バリ島	芸能を通じた村作り	9月中旬	約17万円
		インド	カルカッタ・デリー	カーストを越える共同組合	11月下旬	未定
ヌーベル・フロンティア	☎03－ (944) 4080	フィリピン	スラムと空軍基地	8/2～9, 8/23～30		148,000円, 146,000円
		タイ	バンコクと農村訪問	8/2～9, 8/23～30		173,000円, 168,000円
		インドネシア	バリ, 芸術工房見学	7/20～25, 7/23～28		178,000円
		ニカラグア	革命の地を訪れる	8/21～31		388,000円

※ヌーベル・フロンティアは他に韓国, アメリカ, タンザニアのツアーもあります。

スタディツアーの内容	人数	日程	料金	備考
アジア学院の卒業生を農村に訪ね、彼らとともに語り合う。	13	8月20日～ 9月3日	150,000円	アジア学院後援会会員であること。
ウォールツォク村で植林などの共同作業を行い、学校を訪問したり交流会に参加する。	20	8月3日～ 8月15日	290,000円	アジア協会・アジア友の会会員であること。 16歳～50歳まで。
マニラの社会福祉施設訪問、ネグロス島の農業研修センターのプログラムに参加。労働者と交流する。	15	8月22日～ 8月28日	138,000円	〆切 7月20日
インド、ネパールの民族音楽を訪ねる旅。シタール工場、インド国立音楽舞踊演劇研究科などを見学。	15	9月21日～ 9月30日	298,000円	〆切 8月20日
	16	7月25日～ 8月8日	210,000円	受付終了
インドネシアのNGOを訪ねる一方で、タイでも交流の拠点となるNGOをさがす。	各10	8月11日～20日 8月4日～13日	約180,000円 約140,000円	参加者の都合により日程を調整する。
急激な近代化を推し進める両国を訪れ、今の経済政策が人々のためのものなのか、語りあう。	20人	7月30日～ 8月6日	188,000円	8月と3月にも行われることがある。 受付終了
シャプラニールが実施している農村プロジェクトの見学。特に「教育プログラム」に焦点を当てる。	10	7月24日～ 8月6日	218,000円	〆切 6月10日
シャプラニールで働くソーシャル・ワーカーや農民たちと交流。ダッカ、農村部でホームステイ。	15	8月3日～ 8月14日	240,000円	大阪発 〆切 6月20日
これまでは砂糖キビ農園が広がる西ネグロスを見てきたが、「静かな貧しさ」ともいえる東部の村を訪ねる。	10	8月17日～ 8月28日	14～15万円	定員になりしだい受付終了
JCNCが支援しているツブラン農場を訪れ、ともに堆肥づくりをする。	10	8月15日～ 8月22日	13～14万円	有機農業に関心のある方、または実際にやっている方。
西スマトラの漁村にPHD研修生を訪ね、現地の漁業の状況を視察。	10	8月22日～ 8月30日	180,000円	PHD運動に関心のある方。 事前に勉強会あり。
農業研修生、婦人研修生(保健衛生、育児)を訪ね、村を視察する。	10	8月30日～ 9月8日	250,000円	〃
タイ東北部の農村に1人か2人で滞在する参加者が自分自身でプログラムを組む。	10人前後	8月2日～ 8月23日	145,000円まで	参加者はほぼ決まる。

ディスカウントチケットとは…

交通公社の時刻表によれば、東京・バンコク間の航空運賃は266,000円になっています。しかしこの料分で旅行するのは、よほどのお金持ち。手元の旅のパンフレットをみれば、3分の1程度の料金のタイ・ツアーさえあります。これはもちろん航空会社が団体客相手に割引をしているからですが、この割引切符をバック以外で海外に行くときにどうして手に入れるか、それがこのテーマです。

●格安航空券を売っている旅行会社を探す

上に書いたような安いチケットは大きな航空代理店は扱ってません。それ専門の小さな会社を探す必要があります。それには『日刊スポーツ』新聞にあるダイヤル1000という広告欄と旅行案内雑誌の広告が便利です。ただ広告に書いてある値段は、下に説明するような条件の一番安いときのものですから、必ずその値段で行けるというわけではありません。初めての人には不安になるような安さですが、チケットに関しては問題はないようです。不安を感じる人は航空会社に予約の確認をすれば安心できます。

●安い航空会社のチケットにする

ご存じとは思いますが航空会社によって、料金が違います。私が利用している会員制(年額2000円)の団体EEC(☎03・5386・1711)のパンフレットで料金を紹介しましょう(往復とも同じ航空会社を使うのが格安切符の大原則です)。

タイ航空(TG)…………… 109,900円

エア・インディア(AI) …… 76,000円

エジプト航空(MS)…………… 72,000円

東京・バンコク間にはこの3社ほか日本航空(JL)、パキスタン航空(PK)、キャセイ・パシフィック(CX)などが就航していますが、JLがTGとほぼ同じの高料金グループ、PKがAI、MSなみの低料金グループ、あとはその中間でしょうか。

運賃の違いはどこにあるのでしょうか、そのひとつはサービスの違い。高料金グループはお酒が飲み放題なのに対し、低料金グループは有料どころかイスラム教国の飛行機はアルコール飲料を積んでさえいません。食事やシートにも差があるようです。

しかし、高料金グループの良さはほかにもあります。たとえば時間帯です。バンコクへは午前中にたつて、夕方に着く便がいちばん便利ですが(バンコ

クまで直行で、約6時間、時差が2時間)それができるのは、JL、TGとCXだけです。あとはたいてい夕方に成田を出て夜遅くにドンムアンに着き、未明の2～3時に向こうを出て昼ごろ帰ってくる、あるいは朝の7時台にタイを出発するという予定です。出発2時間前に集まり、到着でも1時間以上通関その他で時間をとられることを考えると、東京近辺に住む者にとって、同じ休暇であっても現地での活動時間が丸1日以上違います。

またTGを利用すると、チェンマイなどに、その日のうちに、無料で乗り継ぐことができます(普通に国内線のチケットを買くと約1万円)。これと同じようなことがJLの切符と日本各地から成田までの飛行機代にいえま

す。また高料金グループには直航便が多いこともあります。日本・タイなどではたいてい問題がないのですが、ヨーロッパに行く格安便はたいてい南回りで途中で1泊することも少なくありません。直航便やアンカレッジ経由に比べると大幅に時間がかかりますが、料金が半額以下なのが魅力です(時期によれば、往復で15万円以下のものさえあります)。

話はそれでしたが、時間やサービスを気にしなければかなり安い切符を手に入れることができるというわけです。

●安い季節に行く

バック旅行の値段が出発日によって違うように格安チケットも料金がわずかに1日の出発日の差によって変わってきます。正月前後、ゴールデンウィーク、夏休みなどが高いのは常識ですが、行く場所によって変わる日が多少違うようです。

●予約は早めに、そして最後まで粘る

安く行きたいという人がかなり多く、安い飛行機会社の便数が少ないこともあって割安の切符は早くなりません(タイへはTG、JLは週20便以上もあるのにたいてい、安いAI、PK、MSはわずかに週6便です)。早めに予定を立て手配することが大切です。キャンセルがあるわりにキャンセル待ちが少ないのも、航空チケットの特徴です。最後まであきらめず、探してもらいましょう。そのとき出発日の2週間前をきるとキャンセル料をとられるので注意してください。

JVCがすすめる 100冊の本 (1)

アジア	見えないアジアを報道する 東南アジア世界の形成 統一ベトナムとインドシナ 新版 カンボジア黙示録 女の国になったカンボジア 魂にふれるアジア 食は東南アジアにあり マングローブの沼地で アジアはなぜ貧しいのか NGOが見たカンブチア	永井 浩 石井米雄・桜井由躬雄 近藤 紘一 井川 一久 大石 芳野 松井 やより 星野龍夫・森枝卓士 鶴見 良行 鶴見 良行 J V C	晶文社 講談社 教育社 田畑書店 講談社 朝日新聞社 弘文堂 朝日新聞社 朝日選書 連合出版
アジア と日本	私たちのの中のアジアの戦争 解放の神学と日本 バナナと日本人 日本のなかのアジア アジアと私たち じゃばゆきさん 飽食日本	吉沢 南 ルーベン・アビト 鶴見 良行 田中 宏 村井吉敬・城戸一夫・越田 稜 山谷 哲夫 陸 培春	朝日選書 明石書店 岩波新書 大和書房 三一書房 情報センター出版局 サイマル出版会
アフリカ	アフリカ・ふたつの革命 アフリカ人はこう考える アフリカ東西の戦場 飢餓からの解放 苦悶するアフリカ カルツーム便り	伊藤 正孝 グギ・ワ・ジオンゴ アーサー・ガブション 佐藤 誠 篠田 豊 田口 幸子	朝日選書 第三書館 新評論 芽ばえ社 岩波新書 サイマル出版会
援助 開発 NGO	される側から見た援助 援助途上国 ニッポン アジア農村のダイナミックス もう1つの突出予算—政府開発援助を考える アジアの開発と民衆 誰のための援助？ 居住へのたたかい 小さな民からの発想 市民の海外協力白書 KOBE発アジア JVC アジバール病院 裸足の革命 国連と NGO	永井 浩 朝日新聞「援助」取材班 大阪YMCA国際社会奉仕センター編・刊 東京山手YMCA編・刊 隅谷三喜男 / アンセルモ・マタイス 村井吉敬・甲斐田万智子 ホルヘ・アンソレーナほか 村井吉敬 市民の海外協力を考える会 PHD協会編・刊 JVC / SHARE B・シュナイダー 福田 菊	勁草書房 朝日新聞社 —— —— YMCA 同盟 岩波ブックレット 明石書店 時事通信社 日本評論社 —— 連合出版 サイマル出版会 三省堂
難民	人間の大地 飢餓と難民 世界の難民 難民問題の学際的研究	犬養道子 犬養道子 緒方貞子 / アンセルモ・マタイス 国連大学 / 創価大学アジア研究所	中央公論社 岩波ブックレット 明石書店 御茶の水書房

アフガン難民の住む町

矢野 和 貴



パキスタンを離れる日を明日に控えた夜、安宿の暗い部屋の中でいつまでも眠れずにいた。わずか一週間の滞在だったが、いろいろな物事の表面をなでたような気がする。しかし何を思い返すにしても乾いた表面だけで、その奥にあるだろう人間の生々しさに触れる手がかりがつかめない。

国際移民委員会（ICM）が提唱するアフガン難民医療計画（AMP）への参加がICMと日本政府、民間の間で昨年合意され^(注)、負傷したアフガン難民が治療のため日本へ受け入れられることになった。銃弾で右ひじが曲ったままになっている9歳の男の子がその最初の患者に決まった。そのドキュメンタリーフィルム作成のための現地取材の手伝いというのが、今回のパキスタン行きの目的だった。

白いトラック

1週間前の同時刻、私はバンの助手席に座り、首都イスラマバードを出て西へ走っていた。昼間の炎熱は嘘のようで、風は乾いて冷たい。窓から吹き込んでくる風の中に土ぼこりの臭いをかいで、私はいらだっていた。

旅先の闇に優しくされ、魅せられたころ、人はやっとそこに暮らす人々と、昼間の陽光の下に見聞きしたものごとへの関わりに触れるとのだと思い込んでいた。しかしこの闇は乾いて埃にまみれ、優しくもなく、語りかけてもこない。

バンの運転手氏はまた別のことでいらだっていた。遠くのカーブの陰からふいに現れた対向車のヘッドライトが上向きのまま彼の目を射ている。距離が縮むにつれて私たちの乗ったバンのフロントガラスは埃が乱反射をおこし、白っぽく視界をさえぎってしまう。対向車は大きなトラックだった。すれ違う瞬間の埃と騒音の中に、ほの白くベージュ色の車体が見えた。

「くそっ、危いったらねえや……。今のはね、“ア

フガンのトラック”なんだ」

「アフガンのトラック？」

「そう。ペシャワールへ着くまでに、まだ何台もすれ違うだろう。危いったらねえ……」

運転席の計器の人口的な緑色の光を瞳に反射させながら彼は続けた。

「ああやって武器や弾薬を積んでこの道を行ったり来たりするんだ。アフガンの連中が使う武器さ。ああいうのが、この間ドカンとやったんだよ」

私がパキスタンに着く前日、イスラマバードの双子都市、ラワルピンディで米国製の武器弾薬を積んだ軍のダンプが大爆発を起こした。半径20キロにわたる地域に、対空ミサイル、対戦車砲弾ロケット砲が飛び散り、連錯爆発した。そのために私の乗った飛行機は12時間遅れでパキスタンに到着し、その遅れを取り戻すためにこうして夜中に車を走らせているのだ。

「政府側は正確な数を発表したが発らないが、1000人以上の死者が出てるはずだよ。あんな恐い思いをしたのは生まれて初めてだったね……」

イスラマバードのICMの職員はそう言って肩をすくめてみせた。彼らの事務所の近くの学校も被害を受けて休校し、校舎の修理中だった。運転手氏の「危いったらねえや」というつぶやきは、まださめやらぬ数日前の恐怖に裏打ちされているのだった。

ペシャワール

次の日の朝、パキスタンの新聞はどれも第一面に、アフガニスタンからのソ連軍の撤退をうたったジュネーブ協定が締結されたことを、ヒステリックに報じていた。パキスタン政府がこの協定を「20世紀の奇跡」と讃えている。とすると、私はこの「奇跡」の日にペシャワールの町に身を置いたことになる。

ペシャワール。

古代ガンダーラの中心をなした町。今はパキスタン中西部のクエッタとともに、アフガン難民の集結

(注) JVCはアフガン難民受け入れのため諸手続きを手伝った。

地の1つとなっている。ホテルの屋上からながめると、遠く西の方に険しい山々がアフガニスタンとの国境を長々と形づくっているのが見える。これほど見晴らしのきく日が続くのは珍しいと聞いた。いつもならここは赤茶けた土埃にすっぽり包まれた町であるらしい。

新しい車。古い車。鈴を鳴らしながら跳ねていく馬車。尻を振りつつ狂走するリキシャー。白い陽光を幾千の色彩に変えるべく飾りたてたトラックとバス。排気ガスと騒音と埃。叫喚。怒声。売り声。呼び声。

人々はしかし、腕を振り上げ、むちを打ち、活力に満ち、放らつに走り、一日の始まりを操っていく。建物も壁も窓も路地も、すべてが白茶けた土から生まれたように、その土がたまたまそういう形をとったというように乾いて見える。

母子保健センター

そんな町の中を20分ほども走った時、私たちの車はふいに大通りから細い路地に入った。ICMのジュネーブ本部から私たちのためにパキスタンへ飛んで来てくれたアフガン出身のマローフィ氏が言う。

「ここはアフガン人の自治区になっていて、これから見てもらうのは彼らが独自でやっている母子保健センターだ。ただし、ここをレポートする機会があったら、スタッフの名前や組織名は一切出さないでほしい。ほかにそうした自治組織がいくつもあってね、そのうちの1つだけがクローズアップされるとちょっと問題なんでね……」

自動小銃を抱えたガードの横を通り、石造りの壁に囲まれた小路を進むと「母子保健センター」という看板が見えた。白衣に身を包んだスタッフたちに出迎えられ、中へ招き入れられる。小さな事務室と診察室が2部屋、さらに小さな医薬室が1つ。裏庭が患者の待合所になっている。

「最初は一般的な診療所を作ったんですが、1年ほど経ってから、女性と子供を対象とする方向に切り換えました。女性と子供が最も弱く、ややもすると最も無視されがちな存在ですからね……」

診療所のチーフをつとめる男性が机の前で手を組みながら話してくれた。10人ほどのスタッフで1日に150～180人の患者を扱うという。薬剤師の女性は、医薬品の質が悪いとこぼした。パキスタン国内で調達するのだが、輸送費も含め金がかかる割に質のいい薬品が手に入らない。診察室の中では若い女性を

見たのはこの時が初めてだった。もの珍しげに寄って来る子供たちにカメラを向けると、その場にいた女性たちはいっせいに身をよじり、チャドルを頭からかぶった。一人の老婆が杖を振り上げて、何やら呪いの言葉を投げてよこした。若い女性たちの、チャドルをかぶるその一瞬のまなざしの中にも、恥じらいの困惑は見られず、長いまつ毛の神秘的な深い目の中に突然の怒りと嫌悪がひらめく。明らかに拒否なのだった。そしてこの時、あのチーフが言った「女性は無視されがちだ」という言葉が含んでいる、別の意味がやっとわかった。

幾重にもかぶせられた禁忌の象徴であるあのチャドルを境にして、社会の大きな部分はたしかに女性たちを無視するのかもしれないが、当の女性たちも自らが持つ可能性を閉じ、外の世界を拒否してよしとする。

「あのチャドルを女性たちが脱ぐ時、この地域は大きく変わるだろうね……」

「そうでしょうね……」

その後、人気の少なくなったバザールを歩きながら、私たち異邦人はそんなことをつぶやき合った。

難民の住む町

この町のはずれに「難民キャンプ」は確かに存在する。それはタイにおけるカオイダン・キャンプのように一種のショーウィンドウのようなものだ。しかしそこまでいかなくとも、この町のいたる所に難民たちは暮らしている。バザールを開き、商売に走り、自治区を作り、武器を持って。

ヤミ市では、アフガニーの交換レートがルピーに対してはね上がった。アフガニスタンへ還るために、手持ちのルピーをアフガニーに換えようとする難民が増えているからだという。

自治区のゲートの横に立つガードは銃を抱えたまま無表情に私の目を見返した。ここでは戦争が真正面を向いて、少しも揺るごうとしない。

ラマダンが始まって2日目の日没直前、イスラマバードは突然のヒョウに襲われた。冷えた空気の中で町の中に祈りの歌と夕げの香りが流れ出し、人々の生活が復活する。細い細い三日月が中天にあった。

どのシーンもどの表情も、強烈に個性的だった。はっきりと独立していた。激しい自己主張だった。それは強引に旅人の注意を引きつけ、振り返れば冷たく拒否する自信に満ちていた。媚びの一片もなかった。



古着 送るべきか、送らざるべきか

中古衣料援助ーソマリアの場合

柴田久史

JVCが中古衣料10箱(50kg)をソマリア、ルークの難民キャンプに送り、人々に配布するまでの手順は？とおりある。

- (1) JVCスタッフがソマリアに赴任する際、別送手荷物として航空便で首都のモガディシュへ送る。

1 kg—1400 円 計70000 円

- (2) 船便で送る。船に乗せてモガディシュに到着するまで約1カ月かかる。

1 kg—320 円 計 16000 円

ソマリアでは、現在のところ航空便も船便も同じ扱いで港の倉庫に搬入する。

ソマリアの関税の手続きは非常に煩雑なため、この手続きを担当するスタッフは数十カ所の役所や事務所をまわってこの荷物を港から取り出す。10箱の衣類はここからまた420km先のルークのキャンプまで運ばれる。日本からキャンプに届くまで最低3カ月はかかる。

次にこの10箱の衣類を受けとったJVCのスタッフはこれを誰に、どう配るか考えなければならない。ルークの難民は約13万人、JVCの対象としているマガネイキャンプの人口だけでも1万3000人、もっと絞ってJVCの農民だけでも100家族を超える。誰にあげて誰にあげないか、不平等にならないように考えてしまう。

それに日本人の着る冬服やスカートはソマリアではまったく着る習慣はない。Tシャツとズボンぐらいは着るが、しかし、遊牧民の彼らの足は大変長い。農耕民の私たちのズボンはまったく寸足らずになる。じゃ、次のパーティの時にでも農民の子供たちに配るか、というのが本音。

いったいここまで来るのに、JVCのスタッフの人件費、ガソリン代を含めていくらかかり、どれだけの人がこの10箱の中古衣料に手をわずらわせるのか、そしてどれだけ役に立つのか。

難民キャンプにも衣類は売っている。今までにかか

ったお金を日本からソマリアのJVCに電信で送金してくれれば、一週間で現金は引き出せ、ソマリアの民族衣装をダンボール10箱どころか、倍以上買える。以上の例はソマリアに限っており、地域、社会状況が違えば、この10箱の衣類ももっと役に立つのかもしれない。

私は中古衣料については、日本国内でリサイクルをして、その売り上げをJVCなど実際に現地で活動している団体に寄付して下さるのが、もっとも有効な方法と信じて疑わない。“自分たちに必要な資源はどんどん南の貧しい国から入れよう。いらなくなったモノはどんどん南の貧しい国に流そう”という善意にしか思えない。

難民問題は、自分の豊かさの余剰を難民に分けることでは絶対解決しない。自らが難民の人々を作りだしている加害者の側に立っていることを理解し、行動するしかない。

難民の人たちに自分のいらなくなった衣類をあげることに満足して、それ以上難民について考えない、行動しないのは、何もしないこと以上に罪悪なこととは思えない。

古着の使われ方

柴田 久寿子

タイには在住1万～2万人といわれる日本人がいます。その人たちが任期を終えてタイを離れる時、衣類を置いていきます。

開発チームは衣類を預かり、バザー用に使用してもらいます。子供用（おむつからTシャツ、ズボン、シャツetc）、大人用、婦人物、男物、ゆかた、さらし（？）、パンツ、ソックス、帽子、バッグ、小物類まで、ありとあらゆるものが出てきます。

それをバザーに出すために、仕分けが始まります。スタッフ、主婦ボランティア総出で、衣類の山を汗だくになりながら片づけます。それが済むと値札つけ。「これは5パーツ(30円)」「いや10パーツ」と、各々意見のくい違いで最初はもめています。そのうち面倒くさくなってみんな黙々と値札つけにいそ

します。まあ、たいして変わらないとお思いでしょうが、買う人（スラムの住民）から見れば5パーツと10パーツの差は大きいのです。

仕分けした品物は保管され、当日開発チームの車で会場に運ばれます。そしてスラムの広場で値段別にぶちまけられ（この形容がぴったりくるくらいの量をひろげます）売られます。収益金は開発チームの資金や、そのスラムの公益事業に使われたりします。

この様に古着は生かされているわけですが、古着を仕分ける作業にさかれる労力はなかなか大変です。送る時にきちんと洗い、仕分けてあればいいのですが、出す方としてはそこまで考えてくれる人が少ないのが実情です。

仕分けしながら、まだまだ使える服、あるいは新品同様のを見ると、「もったいないなあ」という気もちがどうしても出てきます。準備段階で気に入った服は、スタッフと子ども“労賃”などと言いながら先にお買わせてもらっています。服を捨てる人もあれば捨てる人もいます。できるだけ捨てずに使ってもらいたいものです。

それから、誤解をしないためにひとつ。

スラムというと貧しいというイメージがつきまとうて、服もないだろう、送ってあげようというやさしい人がいますが、送られてきた服を空港まで取りに行く手間、税関でのチェックなどへたをすると一週間、二週間、荷物取りに時間をさかれます。そのため、できるだけ日本からの荷物はおことわりしています。送ってくれた方にはきちんと報告したいです。送った方も送って終わり。「いいことをしたわ」で終わったりしないで下さい。スラムの人は着道楽。衣装持ちです。衣類も安いですから。

日本の人には古着を送ることよりも、教育や医療を十分に受けられないという問題の方と一緒に考えてほしいと思います。

古着援助の意味

五十嵐 勉

古着配給には2度付き合ったことがある。一度はカンボジア難民キャンプで、もう一度はカンチャナブリの山村のだが、どちらも黒山のひとだからで、自分たちのトラックが着く前にすでに何時間も待っていた。カンチャナブリでは噂を聞いて山の向こうから野宿してやって来ている人もいたくらいである。

難民キャンプで衣類が不足するのは当然だが、タイの田舎でも古着の需要は高い。盲点なのは、タイのような暑いところでは長袖は不用ではないかという点だが、実はこの長袖が最も喜ばれる。難民キャンプでも、雨期の夜はおびただしい蚊が発生し、ひどい場合にはそれによってマラリアに冒される。長袖が蚊に食われることを防いでくれるのである。また東北タイやカンチャナブリの田舎では、乾期には零度近くまで下がるところもある。長袖は高く、貧しい農民たちの収入ではなかなか買えない。もし支給ができるのであれば、それらを切実に必要としている人々がいる以上、意味がある援助だと思う。

しかし現実にはそう簡単にいかないことも確かである。日本からタイに送るのに、コンテナ1台が45万円かかる。さらに船が港に着いても、そのままくなり陸揚げされるわけではない。寄付物資で税金はかからないという税関からの証明を取るために、何日も待たなければならない。そのあいだに港の倉庫に一時保管しておくわけだが、その保管料がやはり量によっては1日数十万円という金額である。2、3日で終わればいいが、これが下手をすると1カ月もかかる。それならそのお金でいっそタイで新しい衣類を買ってしまったほうがいいということにもなる。またときには一部が市場に出回り、金銭として特権階級のふところに入ってしまう矛盾もある。

支給するほうは手間暇がかかってたいへんだが、例えば日本の個々の家庭が直接村宛てに数キロずつ送るとか、工夫をすれば意外に抜け道があるように思える。タイの農村などを歩き回っての自分の希望的意見としては、日本の日常生活が彼らからある部分をもらい、彼らが衣類にも困窮している以上、ただ日本の生活のなかで古着を捨てて燃やしていくよりは、それを生かす道を探したほうがいいのではないかと思う。

*中古衣料を送るのには2つの問題がある。1つは輸送費、保管料、などかなりの出費が伴うこと。もう1つは“いらなくなったものを送る”という考え方。しかし緊急状況においてはまとまった古着が役に立ち、実際に日本の古着を必要とする人がいるのも事実だ。

JVCは保管場所や人手がないので古着を集めることはしていないが、いくつかの団体では古着を扱っている。

日本救済衣料センター ☎ 06 (271) 4021

〒541 大阪市東区安土町1-23 新船場ビルB1

曹洞宗ボランティア会 ☎ 03 (945) 0981

〒170 東京都豊島区巣鴨1-28-5 ヒカリビル201号

アイネス バスカビル さん



「私の心は現場にいます、現場が好きです。できたらソマリアにいたいです。主人の仕事、年老いた母親、娘、孫……、東京やアメリカに私、責任があります。でもソマリアはいいねえ。食物はおいしくないけど、ゆっくりしていて、シンプルで。たまにモガディシュからのカントリーコマンダーが持ってきてくれるビールは、一番おいしいです」

子育てが終わったら、当然奉仕活動

JVCの東京オフィスに、一人のアメリカ人の女性があります。彫りが深い顔に落ち着いた物腰、かなり上手な日本語を話します。担当はソマリアのプロジェクトオフィサー、そのほか、外国の政府に出す文書の添削や英語版 T/E の発行も引き受けています。彼女の名はアイネス・Z・バスカビルさん、インタビューの途中で、上にあげたようなソマリアへの思いを、何度も話してくれました。

バスカビルさんが初めて日本にきたのは、1964年のことでした。学生結婚したダンナと一緒に、日本福音ルーテル教会の宣教師としてです（彼女はときどきダンナという言葉を使います）。3人の子どもたちが育ち、アメリカに帰国してから、ボランティアの仕事を始めたのだということです。なぜ、ボランティア活動をしているのですか、と問うと、

「イエス様は人々のために頑張りましたとおっしゃっているから」

という言葉があっさりと帰ってきました。クリスチャンとして、ごく当然のことだそうです。

ソマリアから得るもののほうが多い。

最初に勤めたのはJVCの有力支援団体のひとつであるRI（レフュジー・インターナショナル）です。RIでは6年間募金係を担当しました。その末期に、アフリカに出掛け、ソマリアのルークにあるJVCの農場を訪れました。バスカビルさんは、そこで単なる資金援助者（ドナー）の視察におわらず、ボランティアとして3カ月活動しました。その時の印象がJVCとかかわる決定的な原因になったようです。もちろん帰国後すぐに、RIからソマリアへの援助を引き出しました。「ルークは、苦しく、厳しい所です。でもそこで、JVCの人たちも、難民の人たちも、みんな頑張っています。物質的なものはないけれど、精神的な喜びと、『分かちあい』があります。それは人生で一番大切なものです。

最初ソマリアに行ってからずいぶん変わりました。はじめは、あげたい気持ちばかりでした。でも、いまは全然違います。ソマリア人からもらいます」

ご主人の一時的な帰国の際に、6年続けたRIを辞め、旧知の星野さん（事務局長）に話してJVCに来ることになりました。以後、昨年も3カ月間ソマリアに出掛けるなどJVCの専任担当者同様に、ソマリアのプロジェクトにかかわり、責任を持ってきました。モガディシュの事務所で、ルークの現場で彼女の英語はなくてはならないものです。

最後に、JVCのよくないところは、と聞いてみました。バスカビルさんはいにくそうにしていますが、是非にと頼みますと、「JVCの人はみんないい人だけれど……」と前置きして、次のようなことを話してくれました。

RIでは募金担当だったバスカビルさんの目から見ると、JVCの募金活動は、非組織的に映るそうです。東京事務所では、経理、広報など、一部のセクションを除くと、メンバーがそれぞれのプロジェクトを担当する形になっています。担当者は、計画の立案、現場との打ち合せ、東京での募金活動、広報など、一手に引き受けています。この制度は、現場をよく知っている人間が、すべての仕事を運ぶというメリットもありますが、同じ支援団体に、違う担当者が、毎週のごとく行くという非能率もあります。バスカビルさんは能率だけでなく、JVCのイメージも心配しています。募金窓口を一元化したほうがいいということです。（A.G）

JVCプロジェクト

1988年 5 月 25 日 現在

活 動 地 名	活 動 内 容	出 資 団 体	担 当 者
東京本部	渉外, 事業計画, 資金調達, ボランティア調整, 会計, 総務, 情報収集および広報等。 機関誌『トライアル・アンド・エラー』発行。 JVC説明会—毎月第1月曜日 午後6時～9時 第3土曜日 午後1時～4時 学習会 月1回 午後6時～9時 (希望者にはハガキにて連絡)	全国社会福祉協議会	岩崎駿介 (代表) 星野昌子 (事務局長) 加藤志保, 林 達雄, 前川昌代, 鶴田三芳, 古西 勇, 富安光子, 岩崎美佐子, アイネス・バスカビル
神奈川県 (JVC神奈川)	神奈川県内における渉外, 事業計画, 情報収集, 資金調達等を行う。 神奈川県及び県内の市民団体との共同事業の企画, 運営。定住難民プロジェクトのコーディネーション JVC説明会 — 毎月第1火曜日 午後6時～9時 毎月第2土曜日 午後1時～4時		山口誠史
日本国内	●定住難民プロジェクト ボランティアを希望して登録したにもかかわらず, 近くに住む定住者がみつからず待機してもらっていた人々に対し, 活動に入ってもらうための準備作業を行っている。具体的には活動に参加する意志の再確認をしており, その後でボランティアの派遣を希望する定住者の情報を伝え活動可能な組みあわせを実施していく。『もしもしあのね』第6号を5月22日に発行した。今号は 1987 年度の活動報告と 1988 年度の計画が中心である。 ●東金農場 6月に田植えを予定している。 東金で産直運動をしている“さかさま農園”や山武ボランティア協会などと, 毎月1回勉強会を行っている。	ジャパン・タイムス 神奈川県福祉部 横浜キワニスクラブ, 全国老人クラブ連合会, 国際交流ホスピタリティ・トラスト, 禅林寺龍華会基金, 「チャリティ・ウォークかながわ」, 日本少林寺拳法連盟	山口誠史, 落合正幸, 谷本栄子, 他約60人
エチオピア (ウォロ州)	●緊急食料援助 他団体に先がけて87年8月より開始したfood for workにより, 現在のところ飢餓の予防に成功している。しかし次の収穫期まで1年間村人の生命を守るため, 約6万人を対象とした食糧配給を続けざるを得ない。食糧, 輸送力, 倉庫の確保を急いでいる。 ●総合的復興促進 1. 植林 農民, 母親, 子供を対象に指導, その後家庭植林用に苗木を配布。土壌・水源保全用に植えつけを終えた。 2. 保健, 栄養 家庭菜園, 離乳食の訪問形式による奨励が母親自身の手で行われつつある。地元診療所とともに母子健康相談も実施している。 3. 給水 清潔な飲料水確保のため, 泉の保護をしている。種子銀行, 農業教室も引き続き行っている。	CRDA, 西本願寺, チャリティ・サイクル, メリノール修道士会, 全国老人クラブ連合会, バンド・エイド, 東京グリーン・ウォーク, ジャパン・タイムス, モラロジーMIRC, Tree for lifeの会, 栄光学園, 「チャリティ・ウォークかながわ」, 日本少林寺拳法連盟	山田 盛, 伊藤達男, 伊藤幸子, 有本敦子, イエットベルク, ソロモン, バレタ, フェテルワルク, ダニエル

活 動 地 名	活 動 内 容	出 資 団 体	担 当 者
ソマリア マガネイ・キャンプ (ゲドー郡) ハルバ・キャンプ (ゲドー郡)	●農業による自立促進 新しい農場 (Unit 10) の建設にもとりかかった。この農場の難民たちは現在ハルバ・キャンプに住んでいるが、農場の建設状況に合わせ、将来は農場の近くに移り住む予定である。農民を対象にポンプ修理のトレーニングも始めた。 ●植林 マガネイ・キャンプでの苗木配布は一応終了したが、難民からの要求が多く、数百本の苗木をまた配った。 ●現金収入 パン屋、水屋、かじ屋などは順調である。 ●コミュニティー・サービス 各難民キャンプ間のサッカー大会があり、JVCも協力、参加した。	UNHCR, 創価学会青年平和会議, 仏国土をつくろう会	金子一弘, モハメッド・アブディ, シアッド, 荻ノ迫善六, 中野周二, モハメッド, ラシッド, アオキ, アブディ・ジョフ, ムハボ, アブドラヒ, アブディナサル
ジャボレ・キャンプ (ヒラン郡)	4月末日をもって植林プロジェクトをアイルランドのNGOに引き継いだ。4月にはキャンプ内の各家庭に約7,000本の苗木を配り終えた。1家族あたり、2～3本である。苗木を受け取った難民たちは自分の家の周囲に植え、自分で管理している。順調に育てば1年後には人間の背丈を越え、水やりも不要になる。一方、ジャボレ・キャンプとその南のジャララクシ・キャンプの難民を対象とした農業プロジェクトの調査を始めた。ソマリア政府、国家難民局 (NRC) も既にこのプロジェクトを承認し、UNHCRも来年1月から資金を拠出する可能性が高い。	朝日新聞厚生文化事業団, 砂漠に種をまく人の会, R.I. ジャパン	シュクリ
カンブチア (プノンペン カンダール県 プレイベン県 スバイリエン県)	●サンタビエップ技術学校 / ワークショップ 救援団体の車を修理している。溶接の技術を学んだ5人は外の仕事も引き受けるようになった。 ●井戸掘り / 給水 JVCのワークショップ内で2本、小学校で1本、井戸を掘っている。カンボット県で掘る井戸のうち17は予定地が決まったが他の20カ所は未定。 ●RINEプログラム (母子保健) 臨時的RINEセンターで補助給食が始まった。4月に赴任した本田医師を中心に、本格的ラインプログラムのための施設建設、内容のチェックなどを行っている。また一月七日病院で内視鏡の使い方の講習もしている。 ●カンブチア仏教協会に対して、仏教書を作成するための紙の援助を行っている。	関東青年会議所 平和基金, 全国老人クラブ連合会, 創価学会青年平和会議, モラロジーMIRC, 立正佼成会, 自動車労連, 庭野平和財団, ILC チャリティグループ, 西本願寺, 善興寺ダーナ基金, 高岡寺族青年会, 覚法寺, 「チャリティ・ウォークかながわ」, 日本少林寺拳法連盟, 毎日新聞大阪社会事業団, 大竹財団, 東京都社会福祉協議会	熊岡路矢, 簗田健一, 簗田玲子, 馬 清, 本田 徹, 釘村千夜子 [カウンター・パート] タック・カン, アム・デイエエン, メアス・サメット, ゲット・ソーン (保健省) アン・サルン医師 (カンダール県保健局) ニム・ニエム医師
ラオス (ビエンチャン)	●生活改善指導員養成センター 婦人を対象に母子保健, 幼児教育, 家政一般, 農業訓練等の一般知識修得並びに実習を教育省, 保健省の協力を得て行うセンターの運営援助及び技術協力を予定。 センター開設予定は1989年1月。	木幡律子チャリティコンサート	谷山博史, 前田初江

活 動 地 名	活 動 内 容	出 資 団 体	担 当 者
タイ バンコク事務所	渉外, 事業計画, 資金調達, ボランティア調整, 会計総務, 情報収集および広報, パザー, 古本のセール。 季刊『ニュース・レター』(英語・タイ語) 発行。	全国社会福祉協議会	ポンピモン・チャイブーン, カモン・ミンムアン, スン ニー・ティチャリヤクン
カオイダン (カンプチア 難民キャンプ)	●西崎憲司記念技術学校 現在 411 人の若者たちが一気筒, 単車, 電気, 自動車, 溶接の各コースで技術習得に励んでいる。 今までに約 4,000 人のベトナムのボートピープルが国境のサイト 2 に移送された。管轄は UNBRO ではなく UNHCR。 5 月 17 日, UNBRO はクメール・ルージュのキャンプの 1 つであるフエイチャンの食糧配給を, そのモニターを怠ったことを理由に中止した。また唯一の NGO として活動していた OHI も UNBRO に歩調を合わせ, フエイチャンキャンプから撤退した。	UNHCR, SV (Stichting vluchteling)	ソムヨット・ラタナタム 清水俊弘
国境のサイト 2, ノンチャン (カンプチア難民村)	●補助給食・栄養保健教育 4 月 1 日をもって COERR (タイの団体) が JVC のあとを引き継いだ。		
バナニコム (第三国定住待ち 難民一次収容施設)	●文化オリエンテーション ・日本定住予定者 ①日本語学習の基礎 (読み, 書き, 聞き取り) ②日本語の日常会話の習得 ③日本に関する概略的な理解を促す ④渡航に必要な事柄への理解と実習 ・日本以外の国への定住予定者に手続きの理解を深めてもらう。 6 月から内務省は, 各民族, 居住区域のリーダーを難民の間で決め, キャンプ内の安全, 配給など生活面での事に責任をもたせることにした。	天理教千葉	フォード・順子, 鶴岡善和, 大石道子 アナン・ブダミリンプラ ティープ,
地域開発 (バンコク市内の スラム地区) (ブリラム県の M 村)	●奨学金プロジェクト 5 月 17 日に奨学金活動を行っている NGO のスタッフのためのセミナーが開かれ, 同じ家庭を複数の NGO が訪問してしまうといった問題をいかに解決するかが話し合われた。 スラムの家庭訪問, 及び学校訪問を行った。 ●クロントイ図書館 図書活動のほか LOCK 6 の図書館及び 70 ライ・コミュニティに本を送った。 ●地域調査 移動図書活動を拡大した都市貧困開発活動のための調査を開始。ワット・ラカン, ワンラン, ディンデンなどのスラムを調査した。 ●農村 M 村の学校給食活動のための “パバ” (行事やお祭りの前に集める寄付) で, 25,000 バーツの寄付を集めた。	モラロジーMIRC, JOFIC, We Love Asia Tree for life の会 雄勝町町内寺院 会 国際ソロプチミ スト駿河	バティット・チャンスリヤ オン, サムルアイ・ジョ ンヨークラン, リーラ・ クンナロン, コメン・ス ンサマラマ 今泉 恵
人材派遣プロジェクト			
フィリピン (PFAC, パラワン島)	・国際移民委員会 (ICM) — 第三国定住手続きにともなう医療業務及びキャンプ内でのプライマリ・ヘルスケア。担当の石井弘代は 4 月末をもってその任を離れたが, 後任者はまだみつかっていない。	城西病院	石井弘代

JVCの活動とその目的に御理解を

▶JVCとは—Japan International Volunteer Centerは1980年2月、タイのバンコクで設立された民間救援団体です。1979年暮れの、インドシナ難民の大量流出をきっかけに、日本から駆けつけた若者と、現地タイですでに活動を始めていた日本人とが一体となり、現在の組織の原形ができました。JVCは、活動者の自発的な意志に基づき、日本の個人・団体からの寄付金、国連機関からの委託金等によって運営されています。JVCは、人種、国籍、習慣、宗教その他の信条の違いを越えて、難民および同様の窮境にある人々を対象にできる限り継続的な活動を行います。

▶JVCの会員募集について—会員は、総会に出席し、JVCの方針などを決定する他、情報・資料の入手、各種の活動・報告会・上映会・学習会等へ参加することができます。また正会員には自動的に、機関誌(T/E)をお送りいたします。会員の種別と年会費は以下の通りです。

- ・正会員 (一般会員 10,000円 活動者会員 3,000円
団体会員 30,000円 学生会員 3,000円)
- ・賛助会員 金品による支援(金額は自由です。)

▶機関誌『Trial & Error』のみの購読について

- ・毎号1冊送付 年間購読料 3,000円
- ・毎号4冊送付 年間購読料 10,000円

▶送金の方法—下記の口座へ郵便振替にてご入金下さい。

- ①会員：東京5-48365 加入者名—JVC 会員係
- ②T/E：東京3-54186 加入者名—JVC 東京事務所
(住所、氏名、購読開始月をお書き添下さい。)

▶みなさまの募金を支えるJVCの活動—救援活動をより充実させるため、以下の募金をお願いしています。なお募金の20%をJVCの運営経費に充当させていただいています。

- A. アフリカ難民救援募金 (5月小計 79,000円) アフリカの難民・飢餓民への救援プロジェクトに使われます。
- B. グリーン・フォー・アフリカ募金 (5月小計 441,500円) アフリカの土壌回復、農業、植林等に使われます。
- C. インドシナ難民救援募金 (5月小計 1,000円) タイ国内にある各難民キャンプのプロジェクト費にあてられます。
- D. カンプチア募金 (5月小計 50,000円) カンプチア国内の復興のために使われます。
- E. タイ・スラム募金 (5月小計 21,000円) バンコク市内のスラムにおける生活向上のためのプロジェクト及び図書活動に使われます。
- F. スラムの子供奨学金・基金 (5月小計 95,250円) バンコク市内のスラムの子供達が学校へ通う費用を援助します。
- G. タイ農村募金 (5月小計 35,000円) タイの農村開発のために使われます。
- H. 定住難民募金 (5月小計 0円) 定住難民のための日本語教材費と家庭教師の交通費に使われます。
- I. JVC運営経費募金 (5月小計 64,500円) 現場を支えるのに不可欠な事務運営経費、人件費に使われます。
- J. ラオス募金 (5月小計 42,500円) ラオスの婦人の生活向上プログラムのために使われます。
- K. 無指定募金 (5月小計 417,075円)

編集後記

▶6月の初め1泊2日と半日で寿町と山谷に行ってみた。国内版のスタディーツアーといえる。

石川町の駅からモーター街をぬけ、“産業廃棄物処理場”を通りすぎて数分、寿町のドヤ街が見えてきた。なつかしいアジアの裏町のおいがある。しかし女たちの姿も見えないし、子供たちの喚声も聞こえない。男は仕事、女は家庭というシステムが高度経済成長を支えてきた。寿町や山谷には仕事を求める男たちや競争社会に疲れた男たちが集まってくる。寿の人口は5500人。うち単身男性労働者が9割。フィリピンからの出稼ぎ者は100人という。



▶送金の方法—下記の口座へ郵便振替にてご入金下さい。

東京9-27495 (募金種目名をご記入下さい。)

加入者名—JVC 東京事務所

犬養道子・「みどり一本」募金

東京0-212497 (5月小計 1,557,141円)

犬養道子さんの御厚意により、JVCに上記の口座を設けることになりました。この募金はエチオピアの植林プロジェクトに使われます。

昭和63年6月20日発行(毎月20日発行)

編集人 前川 昌代

発行人 星野 昌子

発行所 日本国際ボランティアセンター(JVC)東京事務所

〒113 東京都文京区湯島3-1-4 会田ビル5階

☎03(834)2388 FAX:03(835)0519

Telex: 7604025 JVCHQ UC

神奈川事務所 〒231 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9F (財)神奈川国際交流協会内 ☎045(671)7082

印刷所 (株)ベスト・プリンティング

※本誌の記事・写真等の無断転載・複写を禁じます。

カンプチアで働くNGOが共同で出版物を出しました。国際政治にもてあそばれるカンプチアの人々をもはや黙って見てはいられないのです。あの人たちを忘れないで下さい。クメール・ルージュの恐怖や、破壊された国土は今も残されたままです。



栗野 鳳監訳
発行 JVC
発売 連合出版

NGO が見た カンプチア

6月23日発売

一五〇〇円

(JVCでは一、三〇〇円で販売しています)

〒101 東京都千代田区神田神保町1ノ8
第一野口ビル

連合出版

TEL 03(292)8722
FAX 03(292)8787

エチオピア キャンペーン

飢餓の再来が心配されているエチオピア。3年前のような危機は2度とおこしてはならないことです。現在、国連やNGOが飢餓をくいめようと必死で活動しています。JVCでは神奈川県を中心に、6月1日より「エチオピアキャンペーン」を行い、エチオピアへの支援の輪をさらに広げたいと思っています。

エチオピアキャンペーンの内容

- マスコミやT/Eを通じてエチオピアの現状を訴える
- エチオピアに関する講演会を行う
- スタディツアーを行い、一般の人々に現状を見てもらう
- 食卓募金を行う

* キャンペーンについての詳しいことはJVC 神奈川の山口までお問合せ下さい。

Trial & Error(試行錯誤トライアル・アンド・エラー) 第80号

発行日 昭和63年 6 月20日発行 (毎月20日発行) 通巻80号

昭和57年 9 月16日第三郵便物認可

